

月の舟自由大学学園祭

11/19 (土) 於：鹿児島市中央公民館ホール

かごしま秋の大朗読祭 ～耳で楽しむ文学の祭典2016～



司会・又吉秀和・室屋麗華
今年の学園祭の一番の功勞者は又吉秀和・室屋麗華のコンビでした。両先生の司会進行が華やかさを添えてくれました。又吉先生には合唱の指導、「やさしさかごしま」の独唱、麗華先生にはそれぞれの伴奏、独奏、「明日」朗読の際のピアノ伴奏まで即興でいらしていただきました。お二人に感謝とエールをお贈りします。

テーマは「耳で楽しむ」二つの朗読会を含めて合唱、百人一首の朗読、ピアノ演奏、独唱と盛りだくさんでした。ピアノ演奏はみたけきみこ学長、ピアノクラスの窪田紀子さん、そして麗華先生。続いて秀和とハッピーハーモニー（合唱クラス）の「ふるさとの四季」百人一首の朗読、みたけきみこの「しあわせトリーク」で午前の部を終了。会場ではお香教室の堀之内夕子先生にお香グッズ、まごそぼのさかぐちみどりさんにイラストの展示をしていただきました。タロットトレーニング生徒さんにも参加いただきました。

午後は朗読会。月の舟賞審査の間、瀧先生のストレッチャでリフレッシュ。月の舟講師小林潤司、飯田伸二両先生によるリレートーク。餅田浩子先生による朗読「彼女のこんだて帖」とつづきました。

授賞式後、餅田先生の先導で、会場の皆さんと佐々木幹郎の詩「明日」の朗読をしてお開きとなりました。



向田邦子生誕記念朗読会
月の舟賞
西前紀之様「重役読本」
特別賞
上別府和子様「男どき女どき」
角田光代来歴記念朗読会
月の舟賞
牧田理恵子様「八日目の輝」
特別賞
後藤実千代様「プレゼンツ」
(右より)



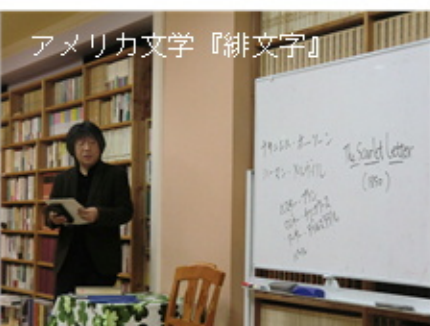
絵巻で愉しむ源氏物語
お琴で愉しむ源氏物語

十一月三日(木)

文化の日に、日本古典文学の第一高峰、源氏物語を愉しんでいただきました。

午前は、絵巻で愉しむ源氏物語。国宝・源氏物語絵巻の復元の姿をもとに、絵巻の構図と本文の関係、絵と本文の不可分の愉しみ方をスライドで具体的に解説。復元された絵巻の色合いは想像もできないほど鮮やかで、王朝の姫君たちの愉しみ方、歓声が聞こえてきそうな時間でした。

午後は「お琴で愉しむ源氏物語」梶ヶ野亜生先生（桐の音楽院）の、十三弦と十七弦の箏演奏を交えて、源氏物語の音楽特に琴三種、琴の琴（きんのこと）和琴（わごん）について学長が解説。今は伝わらない和琴は、合奏用に作られた十七弦の音色が近いのではと梶ヶ野先生。



随談シェイクスピア全集

万葉集を楽して

角田光代「紙の月」

アメリカ文学「排文字」

寺田寅彦と中谷宇吉郎の「雪」

近代の小説を愉しむ